

# 2011公立(神奈川+東京)+私立高校入試結果を読む

今春の高校入試について、昨年は2回にわたってまとめましたが、今回は1回にまとめた拡大版の形でご報告したいと思います。

## 1 神奈川公立高校全体状況

まずは神奈川の公立高校を中心に分析していきたいです。  
 公立高校の入試を振り返る上で大切なことは、その年の公立中学の卒業生数ですが、今年は昨年よりも減少しています。今春の卒業生数は66414名で、昨年の68711名に比べて2297名の減少です。それに対して公立高校の全日制の募集人員は40369名で昨年に比べて1273名の定員減となりました。

前期選抜は18940名の募集定員に対して40596名が受験し、19125名が合格し、実質倍率は2.12倍でした。07年度から順に見ていくと2.29倍→2.20倍→2.19倍→2.17倍→2.12倍と緩やかに下降しています。前期選抜については、この数年間のうちに「倍率が高くなかなか受からない入試」という認識が広く定着してきています。そのため「受からない入試はやらない」という受験生が近年増えてきており、それが倍率の低下につながっているようです。

## 2 学力向上進学重点校

昨年追加指定された8校を加え、合計18校になった学力向上進学重点校ですが、独自問題を実施したのは従来より指定のあった10校のみでした。昨年は数学の平均点が大幅に下がりましたが、受験生を困惑させた学校が多かったのですが、今春は昨年平均点が低かった(25点以下)の学校の始点が5点→7点程度平均点が上昇しています。そういう意味では昨年以上に選抜らしい選抜が各学校ともできたのではないのでしょうか。

## 3 県立トップ3+横浜のTOP

21651名が合格しました。後期選抜の全日制の実質倍率は1.41倍で、昨年に引き続き1.4倍を超える厳しい入試になりました。合格率は71%で、3年連続で70%強、今春もまた10人受験したら7人しか合格できない厳しい入試でした。

こうした状況は、昨今の経済不安、不況の影響や、公立無償化の追い風によるものもありますが、学力向上進学重点校をはじめとする様々な改革を行ってきた公立高校全体への期待が大きくなっていることも要因のひとつでしょう。

## 4 旧横浜北部学区

それでは、その学力向上進学重点校から少しずつ見ていくことしましょう。横浜翠嵐、湘南、柏陽の県内トップ3ですが、**横浜翠嵐**は近年湘南を抜いて県立高校の中では一番の難関校になっていますが、今年はやや受験者が減りました(以下表1表2参照)。昨年暮れの入試予想版で既報の通り、勉強一色のイメージの横浜翠嵐よりも、文武両道のイメージの湘南の方へ今年受験生が流れたということでしょう。前期の倍率は10年→11年で、ややダウンです。一方の後期選抜も減少しました。入試としても最上位校ですから限数がありますが、やや易化したという印象です。

出ず厳しい入試になっています。

**元石川**は7クラス募集のままですが、前期、後期ともに倍率が下がりましたが、2年連続で緩やかな入試でした。

**荏田(普通)**は1クラス減の8クラス募集でしたが、倍率はやや上がっています。後期の不合格者63名は偶然昨年と同数です。**霧が丘**は昨年同様の8クラス募集ですが、昨年の反動からか志願者は減少しています。近年厳しい入試が続いた**白山**は、前期とともに緩和しました。前期3.25倍→1.94倍、後期は2.27倍→1.55倍です。後期は、ここ数年2倍前後でしたが、今年は下がったといっても1.55倍、まだまだ厳しいことは確かです。

**新築**は隔年現象を考えると今年も緩やかになる番でしたが、クラス減によって潰えました。後期の116名の不合格者は昨年並みで、かなり厳しい数と言えます。

(表1) 神奈川公立高校独自校+旧川崎学区実質倍率

	前期選抜		後期選抜	
	2011	2010	2011	2010
湘南	2.36	2.33	1.60	1.36
横浜翠嵐	4.44	4.70	1.78	2.14
柏陽	2.40	2.71	1.52	1.62
横浜国際	2.72	3.03	1.74	1.90
横浜SF	2.23	2.46	1.58	1.17
多摩	2.45	2.98	1.50	1.45
生田	2.30	2.57	1.17	1.36
百合丘	2.10	1.78	1.35	1.09
麻生	1.98	1.80	1.23	1.03
生田東	2.21	2.24	1.34	1.30
市立高津	2.18	2.68	1.23	1.45
川崎北	2.64	2.68	1.67	1.52
菅	2.31	2.10	1.39	1.42
麻生総合	2.33	2.35	1.88	1.85
新橋	1.71	2.26	1.28	1.36
市立橘	3.00	2.30	1.80	1.26
立吉	2.20	2.13	1.49	1.28

(表2) 神奈川県公立高校トップ+旧横浜学区実質倍率

	前期選抜		後期選抜	
	2011	2010	2011	2010
川和	3.37	3.46	1.59	1.64
市ケ尾	2.22	1.67	1.61	1.34
元石川	1.53	1.82	1.12	1.13
荏田	2.22	1.99	1.40	1.34
霧が丘	1.73	2.27	1.16	1.44
白山	1.94	3.25	1.55	2.27
新築	2.60	2.44	1.83	1.73
市立東	1.50	1.72	1.00	1.14
摩根	2.54	2.18	1.48	1.37
新羽	2.30	2.60	1.54	1.85
希望ヶ丘	3.06	2.57	1.46	1.23
大和	2.25	1.86	1.50	1.37
厚木	2.38	2.51	1.27	1.30
田奈	2.80	2.03	3.90	2.63

(表3) 都立高校進学指導重点校実質倍率

		推薦入試		一般入試	
		2011	2010	2011	2010
日比谷	男子	3.30	4.21	2.03	2.06
	女子	4.43	4.17	1.64	1.60
西	男子	2.88	3.82	1.42	1.97
	女子	3.53	5.20	1.25	1.71
国立	男子	3.09	3.67	1.43	1.76
	女子	3.93	4.57	1.34	1.59
八王子東	男子	2.06	2.52	1.28	1.56
	女子	3.50	3.43	1.41	1.48
戸山	男子	4.33	5.45	2.04	2.27
	女子	5.00	5.77	1.57	1.88
立川	男子	3.12	3.33	1.58	1.68
	女子	4.30	3.70	1.65	1.38
青山	男子	5.64	5.71	1.75	1.55
	女子	9.38	9.92	1.84	1.86

(表4) 都立高校町田地区実質倍率

		推薦入試		一般入試	
		2011	2010	2011	2010
町田	男子	1.79	2.52	1.45	1.62
	女子	3.04	3.40	1.69	1.50
成瀬	男子	1.79	2.24	1.25	1.24
	女子	2.73	2.77	1.17	1.18
小川	男子	1.69	3.03	1.05	1.17
	女子	3.35	3.42	1.15	1.08
山崎	男子	1.75	2.48	1.12	1.22
	女子	2.14	3.23	1.16	1.15
野津田	男子	3.83	2.40	1.87	1.55
	女子	6.73	4.57	2.02	1.96
町田総合	男女	1.80	1.96	1.12	1.15
	男女	2.31	2.63	1.35	1.52

地歩を着々と固めつつある**田原**は、クリエイティブスクールになって3回目の入試でした。これで3学年揃ったことになりました。この3年間の倍率の推移を見ますと、前期3.40倍→2.03倍→2.60倍、後期3.37倍→2.63倍→3.90倍となつています。3年目の今春、倍率がUPしているのは、1期生、2期生の様子や学校の姿勢が一定以上地域に評価されているということになるでしょう。次年度はいよいよ1期生が巣立っていきますが、多種多様なその進路に注目したいところ

## 5 旧川崎北部学区

続いて旧川崎北部学区です。**多摩**は独自問題になって4回目の入試でしたが、前期は18%の志願者減、後期は微増といった感じですが、昨年難しかった数学も標準的になり、倍率もそれなりに落ち着いていることか

ら、次年度は要注意の1校です。完全中高一貫校になる相模大野が来春は募集停止になるため、その分もやや流れてくるかもしれません。

昨年、**荏田**は募集定員の1クラス増に併せて志願者が前後期ともに増加しましたが、今年志願者が減少し、3年ぶりに緩やかな入試になりました。とはいえ、上に位置する多摩が独自問題になってからは、独自を敬遠するトップ層が生田に流れ、倍率では見えないレベルアップがあります。また、理系思考の受験生にはお勧めの自然科学コースは、この数年間比較的緩やかな入試が続いて

いましたが、今春は志願者を増やしています。前期2.15倍→2.70倍、後期1.15倍→1.60倍です。昨年、募集定員が1クラス増えたにも拘わらず、それ以上に志願者を増やした**百合丘**は、今年1クラス減であったにも拘わらず2年連続で志願者が増え、倍率も1.35倍まで

年はより広い地域から力のある生徒を集めたようです。大学の合格実績も良かったので、今後もさらに伸びていくのではないのでしょうか。

**相模**は、難易度としては前期、後期ともに昨年とさほど変わらない入試であったと思われれます。前期、後期とも倍率こそ緩和していますが、受験者のレベルは下がっていないようです。

横浜市が大々的に売り出し、多くの志願者を集めて鮮烈デビューを飾った**横浜サイエンスフロンティア**ですが、前期2.46倍→2.23倍、後期は1.17倍→1.58倍です。先述の通り、独自問題初年度の昨年は数学が難しすぎたようですが、今年にはさらに平均点が下がっています。来年こそ易しくするというところから、期待したいと思っています。

それでは、次に、地域別に見ていくことにしましょう。まず、旧横浜北部学区です。

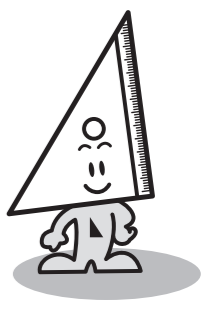
**川和**は今春1クラス減で7クラス募集になり、敬遠され前期、後期ともに倍率がやや下がりました。

昨年、不合格者を159名出した後期選抜は今年もやや倍率が下がったとはいえ、132名の不合格者が出ています。**市ケ尾**は昨年1クラス増で県内最大の10クラスになりましたが、今春も定員減はありませんでした。その分志願者も増え、倍率が跳ね上がり、122名の不合格者を

上昇しました。2年前、3年前に定員割れを起こしていたことなど嘘だったかのようです。同校は近年、授業の充実を謳って学校内の改革に取り組んでいます。少しずつ成果を上げているということでしょうか。

**麻生**は7クラス募集のままでしたが、昨年とても緩やかな入試であったためその反動で志願者が増えました。今春は早稲田大4名、慶應大2名の合格を出しました。当時の入試を考えると全人に近かった学年(後期不合格者5名)ですから、頑張った良い結果を出せたというところでしょうか。

**生田東**は前後期ともに、倍率が昨年殆ど変わりません。後期だけを見ると倍率は緩やかながら年々上昇を続けています。県立高校ながらも、近隣の塾を回って学校のアピールをしたり、とても熱心な学校です。そういうところも支持されてきているのかもしれない。川崎北は年々志



▶分析  
首都圏の高校入試の全体像を捉える

(表5) 私立高校・早慶MARCH一般入試結果

		一般入試							
		2011年度				2010年度			
		定員	受験	合格	実倍率	定員	受験	合格	実倍率
慶応	男子	330	1630	463	3.52	330	1955	719	2.72
慶応女子	女子	90	419	150	2.79	90	510	155	3.29
早稲田実業	男子	81	1036	311	3.33	80	1092	365	2.99
早稲田女子	女子	38	269	80	3.36	38	318	81	3.93
早大学院	男子	320	1587	610	2.60	320	1954	640	3.05
明大明治	男子	60	522	102	5.12	60	487	140	3.48
明大女子	女子		303	52	5.83		333	101	3.30
明大中野	男子	126	777	283	2.75	126	835	296	2.82
明大八王子	男女	60	455	78	5.83	60	490	93	5.27
中大附属	男子	200	625	259	2.41	200	632	326	1.94
中大女子	女子		373	155	2.41		369	210	1.76
中央大学	男女	70	696	165	4.22	70	716	204	3.51
中大杉並	男子	150	433	238	1.82	150	569	225	2.53
中大女子	女子		255	150	1.70		286	115	2.49
中大山手	女子	80	79	79	1.00	80	69	68	1.01
青山学院	男子	70	291	82	3.55	70	400	115	3.48
青山女子	女子		409	96	4.26		490	119	4.12
法政大学	男子	62	200	75	2.67	62	231	73	3.16
法政女子	女子		126	56	2.25		185	72	2.57
法政第二	男子	120	239	120	1.99	120	305	107	2.85
法政第二	男子		599	264	2.27		624	301	2.07

(表6) その他の私立高校一般入試結果

		一般入試							
		2011年度				2010年度			
		定員	受験	合格	実倍率	定員	受験	合格	実倍率
開成	男子	100	642	173	3.71	100	596	172	3.47
桐朋	男子	50	292	153	1.84	50	260	169	1.54
海城	男子		募集停止			85	401	246	1.63
豊島岡女子	女子	45	505	240	2.10	45	567	243	2.33
桐光学園	男子	50	260	120	2.17	50	292	155	1.88
女子	女子	35	101	55	1.84	35	142	96	1.48
青稜	男女	130	563	459	1.23	130	884	693	1.28
桜美林	男女	100	421	385	1.09	100	317	277	1.14
日大第三	男子	60	327	296	1.10	60	439	362	1.21
女子	女子	30	167	155	1.08	30	271	223	1.22
日本大学	男女	70	636	549	1.16	70	154	141	1.09
文特	男女	90	420	293	1.43	90	412	309	1.33
八王子	文進	160	1362	884	1.54	160	1313	1115	1.18
文宣	男女	100	302	137	2.20	100	289	202	1.43
東京農大	男女	160	526	454	1.16	160	751	463	1.62
国学院	男子		611	361	1.69		689	356	1.94
女子	女子	350	519	290	1.79	350	561	312	1.80
駒澤大学	男女	250	583	295	1.98	260	613	296	2.07
国公立	男女	8	313	87	3.60	8	168	47	3.57
特進	男女	30	302	181	1.67	30	271	165	1.64
特進	男女	93	538	462	1.16	93	638	527	1.21
東海大相模	男子	105	195	190	1.03	105	207	197	1.05
女子	女子	59	162	153	1.06	95	142	141	1.01
特選	男女		166	133	1.25		104	80	1.30
特選	男女		116	63	1.84		67	48	1.40
等々力	男女		募集停止			45	139	92	1.51

願者が増えています。今年はずいぶん後期1:6.7倍、5人受けて3人しか合格しない厳しい入試です。後期の不合格者は92名です。前年かなりの倍率であったにも拘わらず、定員を1クラス減らしているのが、今年にはさらに難化したというわけです。菅は特進クラスの設置等で進学に向けた指導への創意工夫が評価されている学校ですが、倍率という点ではここ数年安定しています。**麻生総合**は後期1:8.5倍→1:8.8倍で、2年連続の高倍率厳しい入試が続いています。昨年は1:2.1名、今年は1:0.6名の不合格者を出しています。

春の4000名の増加に対しても定員の増加がありませんでした。今春も3000名強の減少に対して募集定員は変わりません。そういう意味では中3卒業生数とは関係のない最上位の熱い戦いと言えます。今春も東大合格者数が29名と近年好調の**日比谷**は推薦、一般ともに男子が志願者を減らしています(以下表3表4参照)。推薦では今年から小論文が導入され、男子は多少敬遠したようです。それが一般にも影響を与えたかもしれません。同じく東大合格者数29名で日比谷と並ぶ**西**は、志願者数をここ数年確実に伸ばしてきましたが、やはり今年はやや緩和しました。本誌既報の通り、昨年は数学が難しく平均点は男子35.5点、女子28.9点であったため、女子を中心に他校に逃げる生徒が例年以上に多かったということです。今年は数学の問題の難易度も下がり、平均点も50点台になりました。次年度は人気に戻りそうなので要注意です。

**国立**は23区外の都立高校ではトップですが、やはり例年よりやや緩和しているようです。男子は昨年の高倍率からの敬遠、女子は安全志向で立川等に流れたことが原因と考えられます。進学実績も東大13名、一橋大21名、東工大19名等今年も着実に伸びています。ウイングからの受験者が一番多い**八王子東**は、昨年高倍率になりましたが、今年は男子がやや減りました。男子は倍率が増え、女子は減少ですが、今年も合格者を絞っており、男女とも昨年以上の高倍率です。**中大附属**は早大大学院同様、昨春附属中学が開校し、高校の募集定員を150名減らしています。その結果昨年は男女とも志願者を減らしましたが、今年も昨年並の志願者数でした。こちらも昨年の入学者超過を受けて合格者を絞っており、倍率は上がりました。

**青山学院**は昨年同様合格者を絞っており、高倍率が続いています。**政法大学**は昨年、中附の中学校開校で志願者が増加しましたが、その反動からか、今年は男女ともに志願者が減りました。女子は33%減でかなり緩和した印象です。神奈川の**法政女**子も相変わらず合格者が併願の都立へ

9 私立大学附属校の状況

私立の状況は一般入試を中心に主要校を見ていくことにします。**早稲田実業**は昨年に比べて男子は志願者微増、女子は微減です(表5参照)。男子と女子の合格者数の比は4対1で、男子の合格者を絞った分男女の倍率の差が縮まりました。**早大学院**は昨春附属の中学校を立ち上げたことで、定員が120名減になりましたが、昨年は志願者は微減程度でした。しかし今年さらには志願者が減りやや易化した感があります。

近年は倍率が1.5倍を超える厳しい入試が続いています。今春は男子1:8.7倍、女子2:0.2倍で女子はついに2倍を超えてしまいました。昨年と同様の男女枠の緩和で数値上は1:9.6倍でしたが、今年も緩和措置があっても2人に1人は涙を吞んだということです。

この間安定した入試が続いていましたが、今年も90名近い志願者の減少です。レベルは明らかにやや下がっています。**明大明治**は、志願者数では男子が増加、女子は減少ですが、今年も合格者を絞っており、男女とも昨年以上の高倍率です。**中大附属**は早大大学院同様、昨春附属中学が開校し、高校の募集定員を150名減らしています。その結果昨年は男女とも志願者を減らしましたが、今年も昨年並の志願者数でした。こちらも昨年の入学者超過を受けて合格者を絞っており、倍率は上がりました。

この間はかなり流れており、予断を許さない状況です。(表6)の**東洋**以下は入試相談を通ず入試がメインであるため、例年通り、この表では難易度を見るのは難しいのですが、志願者がどの学校にどれくらい集まっているかはわかるといえます。これらの学校は合格者も多く出していますが、今年の注目はなんと

7 進学指導重点校

進学指導重点校7校については昨

男子は倍率が増え、女子は減少ですが、今年も合格者を絞っており、男女とも昨年以上の高倍率です。**中大附属**は早大大学院同様、昨春附属中学が開校し、高校の募集定員を150名減らしています。その結果昨年は男女とも志願者を減らしましたが、今年も昨年並の志願者数でした。こちらも昨年の入学者超過を受けて合格者を絞っており、倍率は上がりました。

次はウイングの地元である町田地域の学校を見ていきましょう。**町田**は昨年2学級増、今春1学級減の7クラス募集になりました。男女は敬遠されて志願者が減りましたが、女子は倍率が上がりました。男子は倍率が増え、女子は減少ですが、今年も合格者を絞っており、男女とも昨年以上の高倍率です。**中大附属**は早大大学院同様、昨春附属中学が開校し、高校の募集定員を150名減らしています。その結果昨年は男女とも志願者を減らしましたが、今年も昨年並の志願者数でした。こちらも昨年の入学者超過を受けて合格者を絞っており、倍率は上がりました。

8 町田地区の各都立高校

女子は昨年並みですが、一昨年までと比較すると明らかに難化しています。昨年同様、八王子地域の受験生が地域内に留まったことや立川を受験していた層が回ってきた点などが考えられます。**戸山**は男女とも推薦、一般を問わず志願者が減りました。それでも男子は、一般入試の実質倍率2:0.4倍で相変わらずの激戦です。**青山**は狭き門である推薦入試は昨年並みですが、一般では男子の志願者が増加、女子は昨年並みでしたが、昨年戸山に流れたと思われる層が戻ってきていることと、西あたりからも今年は流れがあったと思われる。合格者のレベルはかなり上がっているようです。前回も触れたように、他の進学指導重点校が8学級なのに対して、7学級規模の学校ながら進学面では頑張っているといえます。**立川**は男子が昨年並み、女子は志願者が増えました。隔年現象的な部分もあると思いますが、安全志向が強く国立を回避した層や八王子東の昨年の倍率の上昇を見て立川に差替えたケースもあったようです。

開校2年目の**町田総合**も、さほど難化しませんでした。一般入試では男子3名、女子11名しか不合格が出ず、今年も諦めずを受けた生徒が報われた入試でした。**町田**地域では最も入りやすいレベルの**野津田**は募集人数が少ないため

6 都立高校全体状況

今年の東京都立の全体状況を語る上でも神奈川同様、公立中学の卒業生数が大切なわけですが、東京も卒業生数は減少しています。志望調査の段階で昨年の76929名から73560名へ3369名の減少で、神奈川県が約2000名の減に対して東京都は約3000名の減です。これに対して都立高校の全日制総募集定員は昨年の1081学級42240名から1034学級40350名と47学級1890名の減少です。今年も公立中3生の減少分に対して、定員の削減が割合的に厳しく、3年連続で1万人を超える不合格者が出ました。

男子は倍率が増え、女子は減少ですが、今年も合格者を絞っており、男女とも昨年以上の高倍率です。**中大附属**は早大大学院同様、昨春附属中学が開校し、高校の募集定員を150名減らしています。その結果昨年は男女とも志願者を減らしましたが、今年も昨年並の志願者数でした。こちらも昨年の入学者超過を受けて合格者を絞っており、倍率は上がりました。

女子は昨年並みですが、一昨年までと比較すると明らかに難化しています。昨年同様、八王子地域の受験生が地域内に留まったことや立川を受験していた層が回ってきた点などが考えられます。**戸山**は男女とも推薦、一般を問わず志願者が減りました。それでも男子は、一般入試の実質倍率2:0.4倍で相変わらずの激戦です。**青山**は狭き門である推薦入試は昨年並みですが、一般では男子の志願者が増加、女子は昨年並みでしたが、昨年戸山に流れたと思われる層が戻ってきていることと、西あたりからも今年は流れがあったと思われる。合格者のレベルはかなり上がっているようです。前回も触れたように、他の進学指導重点校が8学級なのに対して、7学級規模の学校ながら進学面では頑張っているといえます。**立川**は男子が昨年並み、女子は志願者が増えました。隔年現象的な部分もあると思いますが、安全志向が強く国立を回避した層や八王子東の昨年の倍率の上昇を見て立川に差替えたケースもあったようです。

開校2年目の**町田総合**も、さほど難化しませんでした。一般入試では男子3名、女子11名しか不合格が出ず、今年も諦めずを受けた生徒が報われた入試でした。**町田**地域では最も入りやすいレベルの**野津田**は募集人数が少ないため

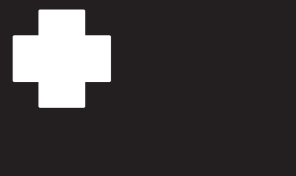
子も倍率こそ下がっていますが、ボーダーはかなり上がっていると思われまます。男女ともかなり厳しい入試で800点程度必要だったのではないかと思います。**成瀬**は倍率こそ昨年並みですが、今年も若干入学者のレベルが上がっている感じがします。推薦入試では昨年同様に内申が高い生徒が多く集まったようです。**小川**は昨年に比べて男子の倍率が下がり、男子は大きく緩和しましたが、新設の町田総合にかつての受験者層をかなりもっていかれているようです。昨年とても緩やかだった女子はやや志願者を戻し、本来に近い入試でした。

女子は昨年並みですが、一昨年までと比較すると明らかに難化しています。昨年同様、八王子地域の受験生が地域内に留まったことや立川を受験していた層が回ってきた点などが考えられます。**戸山**は男女とも推薦、一般を問わず志願者が減りました。それでも男子は、一般入試の実質倍率2:0.4倍で相変わらずの激戦です。**青山**は狭き門である推薦入試は昨年並みですが、一般では男子の志願者が増加、女子は昨年並みでしたが、昨年戸山に流れたと思われる層が戻ってきていることと、西あたりからも今年は流れがあったと思われる。合格者のレベルはかなり上がっているようです。前回も触れたように、他の進学指導重点校が8学級なのに対して、7学級規模の学校ながら進学面では頑張っているといえます。**立川**は男子が昨年並み、女子は志願者が増えました。隔年現象的な部分もあると思いますが、安全志向が強く国立を回避した層や八王子東の昨年の倍率の上昇を見て立川に差替えたケースもあったようです。

開校2年目の**町田総合**も、さほど難化しませんでした。一般入試では男子3名、女子11名しか不合格が出ず、今年も諦めずを受けた生徒が報われた入試でした。**町田**地域では最も入りやすいレベルの**野津田**は募集人数が少ないため

開校2年目の**町田総合**も、さほど難化しませんでした。一般入試では男子3名、女子11名しか不合格が出ず、今年も諦めずを受けた生徒が報われた入試でした。**町田**地域では最も入りやすいレベルの**野津田**は募集人数が少ないため





締め切りが間近なものもございます。  
お問い合わせの上お越しください。



ウイングが開催するイベントのご案内です。受験情報や学校情報が満載です。ぜひお見逃しなく。

## 成功事例の研究 ⑤

2011年 高校入試 成功事例の研究

### ウイング [A教室] Xクラス Aくん(男子)の場合

内申成績										
	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健	技家	英語	合計
中2・後期	5	5	5	5	4	4	4	4	5	41
中3・後期	5	4	5	5	4	4	4	4	5	40

受験結果  
○=合格 ホ○=補欠合格 ×○=繰り上げ合格 ×=不合格 キ=乗換

●受験までのみちのり  
ふだんからあまり多くを語らず、飄々として  
いる彼だった。勉強面に関しては真面目だった。  
真面目ゆえに堅い面もあった。融通が利かない  
というか…。授業中も集中し、宿題もばっちり  
だが、ある程度以上の問題になると手が出ない  
場合がある。とにかく本番での臨機応変さ、精  
神的な強さ、図太さ(ビビらない)を身につけ  
るべく、色々な経験をさせた(勉強合宿、外部

模試、レベルアップ講座、学校見学など)。  
●受験校決定について  
第1志望は慶應義塾。最初から最後までぶれ  
ることはなかった。問題は2月13日までどう  
気持ちを盛り上げていかだだった。本番での強  
さは、最終的には入試を何とかぐり抜けて  
いって完成するものである。肉体的にも精神的  
にも酷だが上のような受験パターンで、2月13  
日まで果敢に攻めていった。私立が第1志望で

	2月9日以前	公立前期	2月10日	2月11日	2月12日	2月13日	国立	公立後期				
受験校	慶應志木 立教新座 横浜翠嵐	早実	早大学院	桐蔭学園理	慶應義塾	-	横浜翠嵐					
合否結果	1次○ 2次辞退	○	×	○	○	○(進学)	-	欠席				
県立入試自己採点												
	国語	社会	数学	理科	英語	5科	A値	B値	C値			
ウイング模試中3後期	9月 合判①	10月 合判②	11月 合判③	12月 合判④	平均 偏差値	科目	9月 駿台	10月 私立模試	11月 独自もぎ	11月 駿台	12月 私立模試	
外部模試	英語	68.1	58.9	72.2	60.1	66.5	英語	61.0	65.0	67.0	66.0	71.0
	数学	75.3	65.7	83.2	64.7	69.9	数学	63.5	67.0	64.0	61.7	68.0
	国語	62.6	63.1	61.3	63.2	63.7	国語	64.5	71.0	64.0	46.6	66.0
	理科	61.8	65.9	68.0	64.1	65.9	理科			67.0	51.6	
	社会	66.4	67.0	69.1	64.8	66.2	社会			67.0	55.6	
	平均	72.0	66.3	75.3	65.5	70.0	平均	65.7	70.0	69.0	59.0	71.0

あるが、できるだけ多く受験機会を得て、経験  
値を上げるために県立前期も受けた。  
●受験を終えて  
結果はどうであれ、必ず慶應までがんばって  
受験すると腹をくくったのが吉と出た。立教新  
座と慶應志木(1次)が○だったのも大きかっ  
たと思う。いち早く私立の合格を手に入れた彼  
はクラスのエースだっただけに、A教室の中3  
に俄然やる気を起こさせたのは言うまでもない。

## 克 勉強合宿 in 河口湖 究極の4日間 [反復の学習空間]



### 安全に合宿を行えるように万全の体制で臨みます。

- 細かい対応を可能とするため、スタッフの人数を多くしています(生徒10名程度に1名のスタッフ)。
- 車で20分程の所に【山梨赤十字病院】【富士吉田市立病院】の2つの救急病院があります。夜間も、2病院で内科・外科の受診ができるよう両病院で調整されていますので安心です。
- アレルギー等の対策も万全です。事前にアレルギーの既往症等を伺い十分に注意し、食事に関しては別メニューを用意します。
- 万が一に備え全員が旅行傷害保険に加入します(保険料は合宿費に含まれています)。

## 2011年度 勉強合宿 ●要項

- 実施日 ■8/14日～8/17日 [3泊4日]
- 場 所 ■富士五湖河口湖「足和田ホテル」  
山梨県南都留郡富士河口湖町長浜395  
☎ 0555-82-2321(代) http://www.asiwadahotel.co.jp/
- 対 象 ■小6V、中3全コース
- 料 金 ■外部生79,800円(税込み)  
内部生69,300円(税込み)  
※兄弟で合宿に参加する場合は割引があります。
- 締め切り ■第2期締め切り 7月15日  
※定員になり次第、締め切らせて頂きます。



## ～高校入試セミナー～ 『神奈川県公立高校を知ろう』 ●神奈川県公立入試制度と入試動向●横浜・川崎エリアの学校紹介

参加  
無料

神奈川県公立高校は学区制の撤廃や独自入試問題の導入などで入試状況が激変し、教育内容も進学重視のカリキュラムを採用した重点校の指定や「単位制高校」「総合学科」など新しいタイプの高校誕生など、大きく変わってきています。今回のセミナーでは公立入試の全体状況と横浜・川崎エリアの学校紹介等についてじっくりお話をさせていただきます。近年公立高校の説明会・合同説明会などの回数が増えてきたというものの、私学に比べるとなかなかその内実が見えにくいというのが実状です。受験学年の保護者の方はもちろん、受験学年ではない方にも分かりやすく公立高校の仕組みを知っていただける公開セミナーですので是非ご参加ください。

- 時間：10:00～12:00
- 場所：青葉公会堂 田園都市線「市が尾」駅下車・徒歩8分
- プログラム  
①公立高校入試制度と入試動向  
②横浜・川崎エリアの学校紹介



◆ウイングオリジナル公立高校  
受験案内(公立ガイド)を参加者  
全員に進呈。

## 2011年度ウイング主催 学校説明会のご案内

参加  
無料

ウイングでは有名中学・高校の先生方へお願いし、ウイングの保護者のみ対象の学校説明会・見学会を催しています。一般の学校説明会とは違い、少人数で行われるので直接学校の先生方に質問をする機会などがあります。各学校の教育方針や特色ある教育内容を直接見て、聞いて、感じることが出来るこれらの説明会には是非ご参加下さい。本やwebサイトなどで見る学校案内などとは全く違ったものを得ることが出来るでしょう。また外部生の保護者様も参加できます。お気軽にお問い合わせください。  
※お近くの教室でお申し込み下さい。

- 6月の学校(終了しました。たくさんのご参加ありがとうございました)  
八雲学園中、東京都大付中、東京農大一中・高、世田谷学園中、神奈川大附属中、田園調布学園中、高輪中、香蘭女学校中、横浜富士見丘中
- 7月の学校(お近くのウイング各教室でお申し込みください)  
7月15日(金)10:00～ 豊岡桐光学園中・高  
[学校データ]  
川崎市麻生区栗平3-12-1(小田急線「栗平駅」徒歩12分)  
『中学においては生徒の可能性を引き出すことに主眼がおかれ、英語と数学では学力別クラス編成を行っている。さらに大学受験に向けて、高校では特別補講、補習、講習により「桐光流徹底めんどうみ指導」を行っている。今春の大学合格状況は、東大5名、京大2名、東工大3名、一橋大1名など国公立大137名、早慶上智大196名、MARCH+理解大で597名で、年々躍進している。』



引き続き9月以降もたくさんの学校説明会を予定しています。詳細が決まり次第お伝えいたします。

ウイングブログ・ツイッターを始めました！ ささまざまな過去問や受験お役立ち情報を発信していきます。ウイングHPからアクセスできます。

ウイングのウェブサイト「www.wing100.net」へ  
wing100 検索

## 今年も多数のご来場ありがとうございました。 6/29 日「私立高校を知ろう」 終了しました。 7/13 日「都立高校を知ろう」

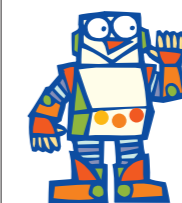
毎年好評をいただいている連続公開セミナーの第1弾「私立高校を知ろう」と第2弾「都立高校を知ろう」が無事終了致しました。大変多くの方々に参加していただきました。各回とも高校から先生方をお招きしお話をさせていただきました。より具体的に私立高校や都立高校のイメージが明確になり、入試に向けて気持ちを高める良い機会になったことと思います。



「私立高校を知ろう」の様子です。

## 7月9日 日本格スタート 『ロボット教室』 あざみ野第2教室でロボット教室が始まります!!

組み立てを楽しみ、動かして、その仕組みに興味を持ち、そして自分で工夫する…一連の授業を通じ、子どもたちは知らず知らずのうちに論理的思考力や空間認識能力を身につけていきます。そして、ロボットへの興味は算数・理科の学習へとつながっていくのです。  
教材は、子どもたちがロボットを通じて学習することに特化して開発されています。  
子どもたちが楽しみながら取り組めるよう、ロボットのデザインや部品の大きさなどにも様々な工夫が詰まっています。そして出来上がったロボットを使って、実験をしたり改良したり出来るようになっています。ロボットを自分の手で作り上げていく過程とそこから生まれる自信が、子どもたちの好奇心を一層高めています。



- 対象学年：小学生
- 期間：1年間
- 授業：月2回(90分×2回)
- 入会時期：毎月

- 入会金：10,500円
- 教具代(入会時のみ)：30,000円
- 授業料：9,450円/月
- テキスト代：315円/月

◇曜日・時間などについてはお問い合わせください。

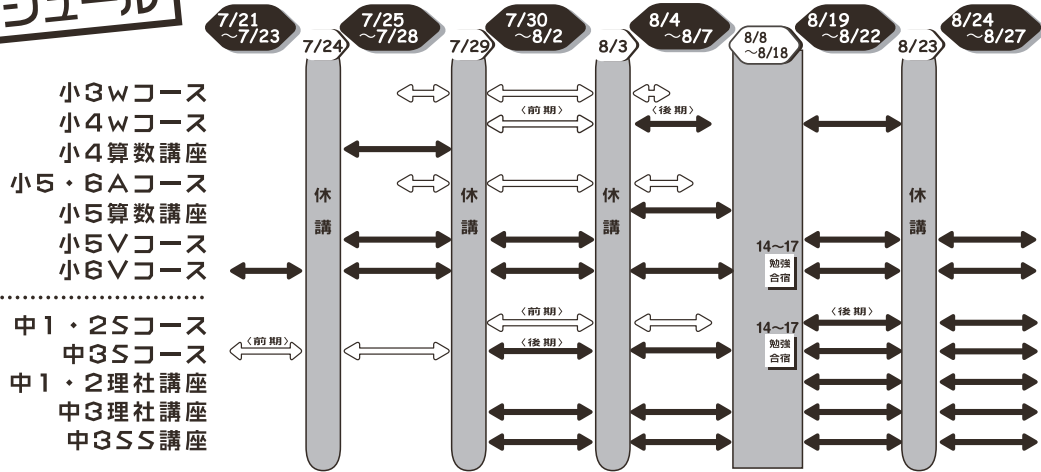
お問い合わせ  
お申込  
ウイング [あざみ野駅前第2教室・あざみ野事務局]  
横浜市青葉区あざみ野2-2-6 第2黒沼ビル2F  
☎045-532-4181  
または  
ウイング [あざみ野教室]  
☎045-905-1151



2011 SUMMER ▶ 7.21(木) 授業スタート

# 夏期講習会のご案内

## スケジュール



教室の事情により要項に若干変更が出ている場合があります。ご不明な点は教室窓口にお問い合わせください。

生徒の皆さんへ～夏期講習会の日程をよく確認しておきましょう。これから暑さが本格化してきます。健康には十分気をつけてください。クーラーの設定温度は低すぎないように！

## パズル de ウイング



例のようにパーツを組み合わせて二  
字の熟語を作ろう。うまく全部作れ  
るかな？  
制限時間5分

例 刀立七木見 ➡ **親切**

日日立月 ➡

木+工世糸 ➡

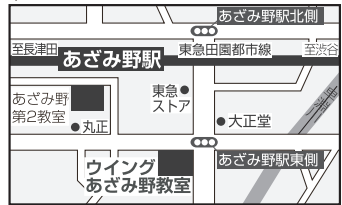
白シ王ム土 ➡

土言寸日十 ➡

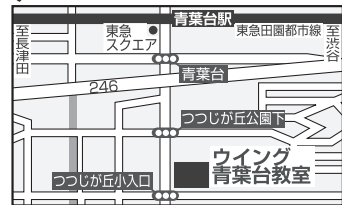
**宮崎台教室**  
川崎市宮前区宮前平1-4-142  
☎044-877-7148



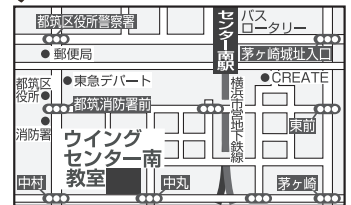
**あざみ野教室**  
横浜市青葉区新石川1-5-1  
☎045-905-1151



**青葉台教室**  
横浜市青葉区つつしが丘24-19  
☎045-986-0971



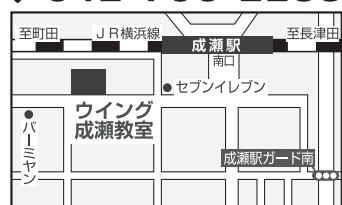
**センター南教室**  
横浜市都筑区茅ヶ崎中央26-1  
☎045-941-5223



**北山田教室**  
横浜市都筑区北山田1-10-5  
☎045-593-8781



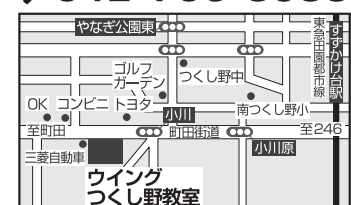
**成瀬教室**  
町田市成瀬が丘2-25-13  
☎042-796-2233



**新百合ヶ丘教室**  
川崎市麻生区上麻生1-7-14  
☎044-966-1684



**つくし野教室** (NEW)  
町田市小川1595-1  
☎042-706-8988



海外教室 ● 台湾台北教室 ● 台湾台中教室 ● 台湾高雄教室 ● ベトナムハノイ教室